

学校名	福島市立野田中学校	校長名	吉川 博
住 所	福島県福島市笹木野字市街道28番地の1	児童生徒数	369名
TEL	024-531-0031	ホームページアドレス	
		学級数	14

確かな学力をはぐくむ「学びのサイクル」とおして！！

～活用する力を高める言語活動の工夫～

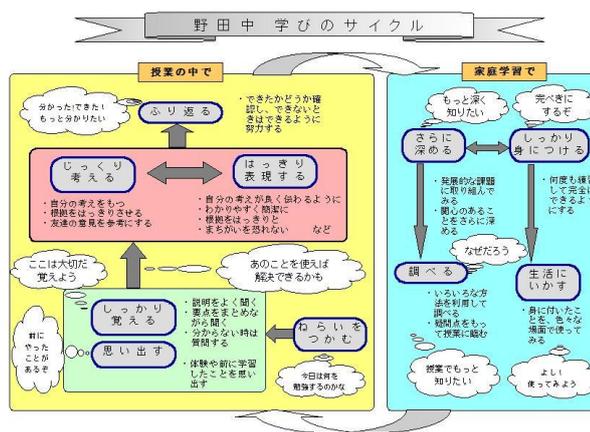
1 少人数指導（少人数学級）の方針

(1) 授業と家庭学習の連携を図る

「学びのサイクル」をとおして、基礎的な事項を確実に習得し、活用力(思考力、判断力、表現力)の育成をめざす。特に、言語活動の工夫に焦点をあて、全教科について実践的に取り組む。

(2) 家庭学習では、予習的課題や問題解決的課題を取りあげて活用する力を育成する。併せて、望ましい生活習慣を身に付けられるよう家庭との連携をさらに深める。

(3) 学校においては、「授業の心構え5か条」を踏まえた授業規律の指導等をとおして高い規律意識を身に付けさせる。併せて、定着確認シート等の活用を図り、学習内容の定着について随時客観的に把握する。



2 実践の概要（2年 理科 言語活動の工夫に焦点をおいた少人数学級指導）



(1) 家庭学習や授業で調べたことをもとに、グループで話し合い活動をさせた。その結果、自分なりの考えに自信をもってグループの中で発表することができた。また、ディスカッションボードを用いたことにより、根拠を明らかにした論理的な考えに練り上げることができた。

(2) グループ発表の際には、聴く側に「なるほど」カードを準備し、発表者が聴く側の反応に手応えと喜びを感じながら発表できるよう工夫した。これら一連の学習活動をとおして、新たな疑問が生じたり、さらに深く知りたいと感じたりした学習意欲の高まりを、次の学習課題の解決に向けた取組につながるような支援に心がけた。

3 実際の課題と成果

- 「学びのサイクル」をとおして、「活用する力」を伸ばす言語活動の工夫に重点をおいたことにより、学習意欲の高まりと学習の深化が見られ、理解力向上につながった。さらに、根拠を明らかにして説明や発表ができるように指導していきたい。
- 言語活動の方法（課題・時間の設定、話し合いのさせ方等）を工夫し、活動だけに終わらず、活用力を向上させる手立てとする必要がある。また、確かな学力の定着に向け、今後も家庭学習方法の工夫による基礎・基本の定着を継続指導する。